



令和7年7月
出雲市立大津幼稚園

あっという間に梅雨が明け、毎日暑い日が続いています。子供達は、プール遊びやせせらぎの丘での遊びで、水の気持ちよさを存分に感じながら、伸び伸びと遊んでいます。

先日からの個人懇談では、暑い中お出掛けいただき、ありがとうございました。保護者の皆様とお子さまの育ちを共有する有意義な機会となりました。2学期からも一人一人の成長を支えていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【園生活の様子をお知らせします】

ちほ先生とララタイム♪

7日には、長岡知穂先生に来園していただき、「ララタイム」を行いました。各クラスで、学年に応じたりリズム遊びや表現遊びを楽しみました。ちほ先生の歌声やピアノの音色に、子ども達の心も体も弾む楽しい時間となりました。



飛行機になって出発！



ダンゴムシに変身

ゆうづらざに行きました！（年中・年長）

9日は、年中組と年長組で、ゆうづらざに行ってきました。広いプールに大興奮の子ども達！渚プールやすべり台のある幼児プールで思い切り遊びました。年長児は流れるプールにも入りました。ダイナミックにプール遊びを楽しみ、「楽しかった～！」と大満足の子も達でした。



浮き輪でバタ足！



流れるプールは楽しいな

みんなで子どもを守ろう！（保護者対象安全教室）

1日と9日には、中国JRバスの曽根様と森廣様にご協力いただき、保護者対象の安全教室を行いました。急な呼びかけにも関わらずお出かけくださった皆様、ありがとうございました。

車を運転する時の注意点を教えていただいたり、運転席からの「死角」を実際に体験したりしました。死角体験では、思った以上に見えないことに驚きの声があがりました。車の陰に子どもが隠れていたら気付くことができないかもしれません。車に乗り込む前に自分の目で周囲の確認をすることがいかに大切なことか、改めて認識することができました。



保護者引き渡し訓練

2日には、水害を想定した保護者引き渡し訓練を行いました。マメール受信後、速やかにお子さんを迎えに来ていただき、ありがとうございました。いざという時に慌てず落ち着いて行動するための、大切な訓練の機会となりました。ご協力いただき、ありがとうございました。



もうすぐ夏休み♪親子読書を楽しみませんか？

先日、一中校区のすこやか委員会の総会がありました。島根大学の佐藤鮎美先生から、「就学前の絵本の読み聞かせは、言語発達を促進し、学業成績を向上させ、また、他者の理解能力の向上につながる」というお話を聞きました。何より、親子の触れ合いのひと時はかけがえのない時間になります。いいこと尽くしの「絵本の読み聞かせ」、メディアから少し離れて楽しんでみてはいかがでしょうか♪

☆夏休み中も絵本の貸出を行っています。詳しくは18日に配布するお便りをご覧ください。



今週末で1学期が終わります。幼稚園の教育活動にご協力いただき、ありがとうございました。また、一人一役、クリーンデー、絵本ボランティアなど、大変お世話になりました。皆様のお力添えに感謝いたします。

みんなで子どもを守ろう！

◆「死角」の体験

- ・車両のまわりには、たくさんの三角コーンがありますが、運転席に乗って見てみると・・・前後左右とも全く見えませんでした。こんなにも「見えない」という事実には驚きました。
- ・覗き込むと、少し見えるコーンもありましたが、運転中に覗き込むことは少ないですね。
⇒だからこそ、車に乗り込む前に、自分の目で確認することが大切です！

＜実際に運転席から見た様子＞



*三角コーンが全く見えません
こんなにあるのに?!



曽根様、森廣様、ありがとうございました



＜保護者の皆さんができること＞

- ①大人が交通ルールを守っている姿を見せる。
- ②危険予測をする。
(アクセルからブレーキペダルに、すぐに踏みかえができますか?)
- ③子どもと手をつなぐ。
- ④道路を渡る時は手をあげる。
(駐車場内も車道部分は手をあげる)

＜参加者された方の感想＞



先日の安全教室、ありがとうございました。とても勉強になりました。実際に運転席からの視界を体験して、思った以上に見えないことに驚きました。日頃の確認や声掛けの大切さを改めて感じました。



普段、通り慣れている駐車場だからこそ、いつも気を引き締めて運転しようと思いました。確認作業をしっかりするためにも、時間に余裕をもって行動することも大切だと思いました。

実際に、車に乗ってみて、小さな子どもがこんなにも見えないのかと驚きました。自分の孫や子どもをひいてしまう事故などを耳にすると、子どもはどんな行動をするか分からないので、大人がしっかり確認し、「子どもがいるかも」と疑いをもって運転することが大切だと思いました。また、子どもにも車の側を通る時には、手を挙げる、大人と手をつなぐ、「もしかしたら車が動くかも」と思って行動するよう、家でも教育していきたいと思いました。